

取扱説明書【テーブル・デスク】

この度はイデーの製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。製品を末長く安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。また必要に応じていつでも読めるように保管してください。

Contents

- 1: テーブル・デスクの設置について
- 2: ご使用上の注意
- 3: 保守・点検
- 4: お手入れ方法

1: テーブル・デスクの設置について

- ① 直射日光や熱、冷暖房器具の風が直接当たらないように設置してください。製品の変形や変色、火災の原因になります。
- ② 高温多湿の部屋や通気性の悪い場所でのご使用はお避けください。カビやダニの発生の原因になります。
- ③ 製品は水平に保つようレベル調整してください。製品の変形やゆがみの原因になります。
- ④ 床面がフローリングや畳の場合、床材にキズをつける恐れがありますので、脚部にフェルトを貼って保護したり、敷物等を敷いてご使用ください。

⑤床面がクッションフロアの場合、脚部にフェルトを貼って保護したり、敷物等を敷いてご使用ください。木部の塗料と床材との反応による汚れを防ぎます。

2:ご使用上の注意

①製品の上に乗ったり、踏み台として使用したり、不安定な姿勢で腰掛けたりしないでください。転倒してケガをすることがあります。

②抽斗にぶら下がったり、無理に引っばったりしないでください。また同時にいくつも抽斗を開けないでください。製品が不安定になり転倒することがあります。

③抽斗をいっぱい引き出すとはずれて落下することがあります。

④可動式の天板は、固定金具でしっかり固定して使用してください。固定が不完全な状態で使用すると、天板がはずれて破損したり、ケガをすることがあります。

⑤製品を移動する場合は解体してから移動してください。やむをえず組み立てたまま移動する場合には、大人2人以上で持ち上げて移動してください。押したり引きずったりすると床材がキズついたり、破損することがあります。

⑥天然木(無垢材/突板)の天板に直接熱い物や濡れた物を置いたり、ビニールやガラス板等で長期間被って使用しないでください。反りやひび割れ、塗装面の変色や剥離の原因になります。

⑦底の濡れた容器等を天板の上に長時間放置しておく、しみや痕がつくことがあります。

⑧食器類/陶磁器類の糸底(ザラついた底)で、天板や棚板の表面がキズつくことがありますので、食器類を置く時や移動する時はご注意ください。

⑨製品にガラスを使用しているものは取り扱いに十分ご注意ください。ガラスが割れてケガをすることがあります。

⑩天板に消しゴムのカスを放置しておく、塗装皮膜と化学反応を起こして変色したり変形することがあります。

⑪化粧品・整髪料の汚れは早めに除去してください。変退色の原因になります。(ただし、マニキュアの汚れは取れません。)

⑫製品に使用している接着剤等の成分(ホルムアルデヒドなど)により、肌の弱い方はアレルギー反応が起こることがあります。それらの成分は特性として空気中に放散しやすいので、室内の換気を十分に行ってください。症状が改善しない時はすみやかに使用をやめ、医師にご相談ください。

3:保守・点検

①ネジ・金具類は、ゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいる場合は工具を使用してしっかり締め直してください。ゆるんだ状態でのご使用は、破損や思わぬケガの原因になります。

②虫害を発見した場合は直ちに殺虫・防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

③改造および弊社以外での修理はしないでください。製品の強度が落ち、破損の原因になります。

4:お手入れ方法

①木部・F.R.P.

○塗装面のホコリは柔らかい布かハタキで払ってから、柔らかい布で乾拭きをしてください。ホコリがついたまま拭くと細かなキズがつくことがあります。

○汚れが落ちにくい時は、中性洗剤をぬるま湯で3~5%にうすめて柔らかい布に浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後水を浸した布で洗剤分を拭きとり、最後に乾いた布で水分をしっかりと拭きとってください。

○化学ぞうきんは使用しないでください。塗装面のツヤが消えたり、しみになる場合があります。

②石・ガラス・金属部

○柔らかい布で乾拭きしてください。

○汚れが落ちにくい時は、中性洗剤をぬるま湯で3~5%にうすめて柔らかい布に浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後よく水拭きし、最後に乾いた布で水分をしっかりと拭きとってください。

お問い合わせ先

株式会社良品計画 お客様室 〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3 Tel:0120-14-6404